

～ All for one, One for all. ～

創世記 第一章 三節～五節

神は「光あれ」と言われた。
すると光があった。神はその光
を見て、良しとされた。神はそ
の光とやみとを分けられた。神
は光を昼と名づけ、やみを夜と
名づけた。夕となり、また
朝となった。第一日である。



光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 215 号 —

2022 年 1 月 1 日発行



2022 年お正月のおせち料理を前に

新年あけまして
おめでとうございませう

旧年中は当法人の社会福祉事業に対します格別なるご支援に、深く感謝致しております。

昨年は前年に引き続き新型コロナウイルスの影響が大きく、制約の多い生活が続いた一年でした。東京光の家では、新型コロナウイルスの蔓延を未然に防止するために、早い段階から独自の検査体制や、可能な限りのワクチン集団接種を行い、できる限りの努力をして参りました。

引き続き皆様のご理解とご協力を頂きながら、生活に喜びを忘れない利用者支援を継続して参りたいと思っております。

皆様方のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和四年 元旦

社会福祉法人 東京光の家

役・職員一同

SDGsに思うこと

東京光の家保護者会 会長 船橋 敬



船橋会長

ない。一個人のみ大富豪になっても社会の多数が貧困に陥るような事業であったなら、その幸福は継続されない」と慈善事業などにも積極的に取り組んだそうです。

光の家保護者会の会長をさせていただいております船橋です。理事・評議員・支援者の皆様の日頃よりのご支援に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

さて、昨今注目され光の家でも熱心に取り組まれているSDGs活動。「地球上の誰一人取り残さない、みんなが豊かになる持続可能な社会」を目指す取り組み。幕末の日本で同じような発想をしていた人物がいました。新一万円札の顔、渋沢栄一です。彼は「誰もが豊かにならなければ意味が

恥ずかしながら私は、大河ドラマ「青天を衝け」を見るまで資本主義の父以外の渋沢の顔を知りませんでした。養育園をしれば訪れ傷ついた子どもや困窮した弱者に寄り添う姿に興味を持ち調べると、彼が日本の社会福祉事業の先駆者でもあったことがすぐにわかりました。障害者施設とも深い関りがあり、日本初の知的障害者福祉施設で支援難度の高い障害者を積極的に受け入れてきた「滝乃川学園」が存続の危機に瀕した時は、資金援助だけでなく理事長としても尽力されました。渋沢は救世軍をはじめとするキリスト教の

社会事業も支援し、また中央盲人福祉協会の会長もされていたので、秋元梅吉先生とも接点があったに違いありません。伝記での「賛助することで自分が感化を受けたことは差し上げたものより多い」という言葉に傲慢さは感じられません。そして誰もが豊かな社会が継続することは、みんなの得で自分の得にもなる」と慈善活動を合理的経済的に考えることができた人だったようにも思えます。あの時代に、経済と公益や福祉は共に成長し進むべきという考えをしていたことに先見の明を感じました。

さて話が大河に戻りますが、渋沢が訪れるようになって養育院で暮らす人々の表情が変化していきました。生気のない暗かった顔が生き生きとした笑顔になり、働いている人の顔も明るくなり余裕と覇気も感じられるようになりました。渋沢が目指したみんなが豊かな社会も、SDGsの誰一人取り残さない社会も、結局は地球上で暮らす全ての人が安心して笑いあえる世の中なんじゃないでしょうか。そういえば環境活動家のグレタさんは、いつも不安と焦りで怒りをみなぎらせているように思います。SDGsが実現し彼女が柔らかな笑顔で語りかける日が来ることを願ってやみません。

ところで、いい施設の見分け方の第一はスタッフや利用者の笑顔とオープンな風通しのよさだそうです。いい施設も、みんなが豊かで持続可能ないい社会も、目指す所は同じなんじゃないかと思います。光の家が地道に取り組むSDGs活動が、園生の笑顔と心の豊かさに繋がっているに違いありません。感謝いたします。

課題の山積した社会ですが神様がお導き下さると信じております。

「今飢えている人々は幸いである、あなたがたは満たされる。今泣いている人々は幸いである、あなたがたは笑うようになる」



第 1 部「礼拝」月本先生講演

十二月十六日、二〇二二年のクリスマスが無事に行われました。昨年引き続きリモートではあ



第 2 部「会食」2021 聖書クリスマスメニュー

に山羊のチーズや種無しパンをイメージしたカナッペ等、珍しい

りましたが、光の家一同でイエス様の誕生を祝う時間を与えられた事に感謝いたします。
第一部「礼拝」は、今年度理事となられた月本昭男先生より「もう一人の博士」と題して記念講演を頂きました。そして、生涯をかけて苦しむ人々を助けながら、救い主を探し求めたアルタバン博士の姿を通して、私たちの心の中にイエス様をお迎えする生き方を教えて頂きました。



第 3 部「祝会」聖歌隊

食材でメニューが生まれ、園生の皆さんは興味津々。食事課職員が早朝から準備をした豪華なランチプレートの前に、笑顔が絶えない時間となりました。
第三部「祝会」は、感染症対策として事前に録画した動画を配信する形で実施しました。聖歌隊は各施設がそれぞれに練習の成果を発揮し、また演劇では栄光園の園生が奴隷商人から神を敬う人となったジョン・ニュートンの生涯を演じ、大きな拍手を受けました。



第 3 部「祝会」アメージンググレース演劇



第 3 部「祝会」オンライン講堂会場の様子

今年も多くの皆様協力と神様の恵みの中で、無事にクリスマスを祝う事ができました事に感謝致します。

クリスマス委員長 塚田光子

神愛園

一泊旅行

期間：十一月十六日(火)～十七日(水)
行き先：エクシブ伊豆

今年の神愛園の一泊旅行は、引き続きコロナウイルスの予防対策を徹底した上で伊豆方面へ行ってきました。

した。夕食のフレンチも豪華なメニューで皆さん大変満足されていました。

行きは全車両グリーン車のサフィール踊り子号を利用し、車中ではそれぞれ好みの駅弁を堪能しました。宿泊先のエクシブ伊豆ではプールに入ったり、のんびりお茶をする人がいたり、皆さん思い思いに過ごされていてい

二日目は、シャボテン公園でカンガルーやカピバラと直に触れ合ったり、城ヶ崎海岸では、名所のつり橋で断崖絶壁のスリルも味わってきました。

今年も大きな事故怪我なく無事に旅行に行けたことに感謝したいと思います。



カピバラの毛って堅いね♪



サフィール踊り子号に乗りました！

就労ホーム

ビバ！日帰り旅行

期間：令和三年十一月一日(木)
行き先：西武園ゆうえんち

就労ホームでは、最近コマースシャルでもご存じの方も多いと思われる、西武園ゆうえんちに行ってきました。リニューアル後の目玉は、昭和のレトロな雰囲気香る、『夕日の丘商店街』。殆どが平成生まれの利用者たちでしたが、むしろ新鮮な様子で買い物や食べ歩きを楽しみました。そしてやはり遊園地の醍醐味は、乗り物の数々！空中ブラ

ンコやバイキングでスリルを楽しんだり、コーヒーカップを高速回転して大笑い！新設された『ゴジラ・ザ・ライド』は、思いの外エキサイティングで、「怖かったー！」との感想が続出でした。落ち着いたとは言え、まだまだ感染症への心配は尽きませんが、対策をしっかりと行いつつ、全力で日帰り旅行を満喫＆リフレッシュしてきました♪



「夕日の丘商店街」の様子



ミニ電車に乗りました！



多摩動物公園の前で、
実習学生さんとピース！



利用者にうまく説明できたかな？

日野市主催の「日野市移動支援従事者養成研修」は、障害者差別解消、障害児者の余暇活動・外出活動支援、将来の福祉人材の育成を目的とした活動です。

光の家が担当した講座は「知的障害児者移動支援従事者養成講座」で、光の家就労ホームの利用者のみなさんのご協力をいただき、実習が行われました。

参加された実習生は、明星大学をはじめとした七名の学生の方々でした。参加者のみなさん

「質の高い教育をみんなに」「住み続けられるまちづくりを」

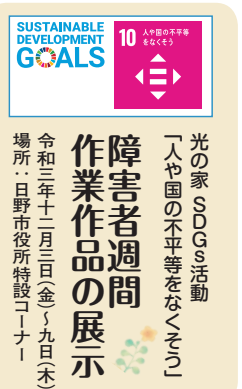
光の家SDGs活動

日野市移動支援養成活動

令和三年十一月二十一日(日) 場所：都立多摩動物公園

には、一緒に歩いて頂く利用者の方々の障害特性を理解して頂き、コミュニケーションを行いながら、マンツーマンで動物園内をめぐって頂きました。

普段の生活の中ではなかなか接することの少ない障害を持った方々との触れ合いの機会を持つことで、障害を持つ方々を含むすべての方々が共に暮らす共生社会の実現に近づくお手伝いができたのではないのでしょうか。



光の家SDGs活動

「人や国の不平等をなくそう」

障害者週間
作業作品の展示

令和三年十二月三日(金)～九日(木)
場所：日野市役所特設コーナー



日野市役所の障害者週間特設コーナー

障害のある人となない人が共に暮らす「共生社会」の実現を目的とした障害者週間が今年も開催されました。

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で、参加型のイベントは開催されませんでした。が、日野市役所に、市内の福祉施設の活動が紹介される特設コーナーが設けられ、新生園の陶芸作品が展示されました。

音だけをたよりに
スマッシュ！



光バンドとパブリカを歌い踊りました♪



日野市立旭が丘小学校のみなさんが、光の家を訪問し、見学と活動体験を行いました。作業見学・体験や、アイマスクを着用してサウンドテーブルテニス体験など、光の家利用者の日中活動を体験して頂くことができました。



光の家SDGs活動

「質の高い教育をみんなに」

日野市立旭が丘
小学校見学

四年生八十二名
令和三年十月十日(金)

この二年 新年の抱負



新生園

歩行と手芸を
頑張りたいです
山崎 舜太郎

栄光園

点字印刷などのお仕事、
がんばってます。
浅見 真

神愛園

コロナウィルスの
終息を願って
井澤 晶子

就労ホーム

明るく楽しく
元氣よく
高橋 果穂

今年は歩行訓練を希望して、セブンイレブンや理髪店、豊田駅まで行けるよう頑張りたいです。

その他には、作業訓練の手芸

で織り機をやっているのですが、間違えないように頑張つて、何か作品が作れるようになりたいと思っています。二〇二二年もコロナが流行らずに、行事も予定通り開催できると思います。



手芸作業がんばります！



点字印刷で、紙入れ作業をしています

新生園から今年度、栄光園の入所になりました。今は2係で点字印刷の入れや抜きをはじめ、リサイクルなどの作業をがんばっています。

休みは好きな九十年代のアニメや、ニュースを聞いてリフレッシュしています。

新しい生活に慣れていない所もありますが、同室の先輩に色々アドバイスを受け、これからがんばります。

私は今年で六回目の年女になります。今年は健康に気をつけて作業を休まないように一年を過ごしたいと思います。そして、コロナウィルスが一日でも早く終息して、皆が幸せになることを祈りたいと思います。

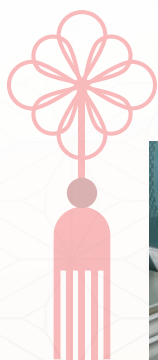


手芸のひも巻き頑張ります！

私は昨年二十歳になりました。カナンや公園清掃・ダイレクトメールなど色々な仕事を経験しました。今年社会人3年目になるので、ますます仕事に集中して頑張りたいと思っています。先輩や後輩のみんなと一緒に仲良く仕事や外出の行事などお楽しみがある就労ホームが大好きです。



様々な仕事に挑戦しています





優しい仲間と毎日過ごしています♪

私はグループホームにきて二年目になります。最初はすごく不安でしたが、一緒に暮らすみんなが「お風呂どうぞ」「ご飯できましたよ」「洗濯機どうぞ」など、とても優しく接してくれるので、ここでの生活がうれしいです。今年、休日に時々行う調理体験と一緒に買い物に行ったり、みんなで喫茶に行つて、今まで以上に交流を深めたいと思っています。

グループホーム

みんなの
優しさに感謝して

吉田 丈二



まごころ込めてサービスいたします

光の家マッサージホームにお世話になって十五年になります。施設も立派になり、また同僚にも恵まれて、大変感謝しています。コロナウィルス感染拡大の影響は大きく、残念ながらお客さまも減っています。その中でも定期的に通つて頂けるお客さまもあり、嬉しく思っています。本年はより良い接客が出来るようにもつと頑張りたいと思います。

マッサージホーム

苦手な接客に
取り組みます

平野 俊宏

光の家鍼灸

マッサージホーム

真心をこめた施術で、皆さまの健康に奉仕させて頂きます。

受付時間 (電話予約制)

午前九時〜午後七時半

定休日 毎週水曜日

電話

〇四二(五八二)七二〇九

料金

はり 四、〇〇〇円

マッサージ 三〇分 二、五〇〇円

七〇分 三、八〇〇円

一〇〇分 五、〇〇〇円



毎月1日はサービスデー、500円割引

寄付者名簿

令和三年十月二十七日

令和三年十二月十五日

船橋敬様

ブルーベリーりんごジュース漬け 十二個

株式会社リードリアルエステート様

米 一〇kg

切り餅 十二個入り四パック

トイレットペーパー 三〇ロール

ティッシュペーパー 十五箱

マスク 二箱

ウェットティッシュ 六箱

坂本武様 かぼす五十五個

みかん 十三kg

浅石常勝様 米 三〇kg

井川寿美江様 雑巾 六〇枚

佐藤幸則様 りんご一四四個

小野比佐子様 布マスク七十八枚

株式会社平野代表取締役会長

平野英夫様

ほうじ茶ティーバッグ 一二〇袋

煎茶ティーバッグ 一二〇袋

石川紀子様 りんご六十八個

河村正様 玄米 六〇kg

渡辺祥子様 みかん一八〇個

井川幸雄様 鮭 一〇〇切

りんご一〇八個





どう？僕のテクニックは！

日野市と東京ヴェルディの協同事業として、「障がい者スポーツ体験教室」が実施されています。東京ヴェルディ普及部のコーチやゲスト講師が指導を担当し、年齢、性別、種目などの垣根を越えて、参加者の皆様とともに楽しく身体を動かす活動として行われているのです。一回目の参加時は、準備運

動として三種類のダンスを行い、その後はストラックアウト、サッカーのドリブルを楽しみました。二回目の参加時も、初めにダンスで体をほぐした後、サッカーボウリングやジグザグドリブルを楽しみました。

就労ホームの運動クラブでは、日頃の活動の中でサッカーの経験があるため、ボールを蹴ることやドリブルをすることに慣れており、今回の内容にもスムーズに取り組むことが出来ました。特にカラーコーンを並べて、その間を器用にジグザグにドリブルする利用者を見て、サッカーで有名な東京ヴェルディのスタッフの方も「こんなに上手にドリブルできる人たちは光の家の皆さんが初めてですよ。」と驚かれました。

日野市障がい者スポーツ体験教室

日時：令和三年十一月九日（火） 十一月三十日（火）
場所：日野市市民の森ふれあいホール



第25回 手さぐりの作品展

【日 時】2022 年（令和 4 年）2 月 10 日（木）～ 12 日（土）
午前 10 時～午後 7 時

【会 場】イオンモール多摩平の森 イオンホール A

【問合せ】東京光の家 電話 042(581)2340

東京光の家の利用者が、作業訓練の中で作った陶芸、木工、籐細工、手芸、紙の作品を展示します。是非、作品を触って手で視覚障害者の利用者の方々が作った作品を鑑賞してください。



あとがき

皆様にとりまして本年が平安でありますようお願い申し上げます。さて新年号に東京光の家の保護者会の船橋会長に「SDGs に思うこと」というテーマでご寄稿頂きました。

東京光の家は人権・環境・平和を取り扱う SDGs の中でも 10 番目の「人や国の不平等をなくそう」を中心に光の家の音楽活動や芸術活動を通して障害者の理解・啓発活動を行っています。今後も船橋会長が書かれたスタッフや利用者の笑顔とオープンな風通しのよい施設を目指していきたいと思います。

（理事長 石渡 健太郎）

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。

発行 東京光の家
〒191-0065
東京都日野市旭が丘一七
社会福祉法人 東京光の家
電話 〇四二(五八二)二三四〇
FAX 〇四二(五八二)九五六八